

**民間保育園3園が開設に向け準備**

民間保育園整備費補助金 予算額…5億5700万円

急速に増える保育ニーズに応えるため、新たに3つの民間の認可保育園が平成27年度の開園に向けて準備しています。市は民間保育園に対し、平成26年度に建設の補助を行います。

●主な質疑

問 どの辺りに建設されるのか。

答 たんぼほ第2保育園が西二丁目12番地内(仮称)ふじみ野亀久保保育園が亀久保四丁目12番地内(仮称)上福岡三丁目保育園が上福岡三丁目10番地内の予定。

問 年齢別の定員は。

答 たんぼほ第2保育園は0歳児9人、1歳児16人、2歳児18人、3歳児から5歳児までがそれぞれ20人の計103人。(仮称)上福岡三丁目保育園が0歳児9人、1歳児16人、2歳児20人、3歳児から5歳児までがそれぞれ25人の計120人。

問 3歳児から5歳児までがそれぞれ25人の計120人。(仮称)上福岡三丁目保育園は、0歳児6人、1歳児24人、2歳児30人の計60人。0歳から2歳児までの保育園の予定。

**(仮称) 児童発達支援センターの設置**

児童発達支援センター設置工事費等 予算額…2700万円

発達支援の必要な児童の早期発見と適切な療育を行うために、支援センターが設置されます。フクトピア内保健センター2階が改修され、平成27年4月開所予定。

●主な質疑

問 どのような支援が可能になるのか。

答 相談事業と発達障がい児対象の通所施設(10人以上)を整備する。

問 保健センターや子育て支援課、障がい福祉課での相談事業を一元化させ、障がい認定されていない児童も対象としていく。成長年齢を考慮しながらグループ指導も行いたい。

問 運営形態は。

答 専門性が問われるので、社会福祉法人やNPO法人にお願いしたい。

子ども

問 相談業務の内容は。

**スポーツ振興で心身の健康促進を**

スポーツ振興費 予算額…3億6000万円

文化・スポーツ推進条例の策定に向けた準備が進められることに伴い、生涯スポーツの推進や多目的グラウンド整備事業などさまざまなスポーツ振興事業が展開されます。



**介護予防 いきいきボランティア**

介護支援ボランティア 事業委託料等 予算額…120万円

65歳以上の元気な高齢者が入所施設などで介護ボランティアをすることで、社会参加を推進する制度です。同時に、自身の介護予防にもなります。事業は、社会福祉協議会へ委託します。

●主な質疑

問 事業概要は。

答 介護保険施設での散歩や話し相手などのボランティアに対して、ポイントをつける。10ポイントで1000円を予定している。年間の上限は50ポイントで交付金として渡し、介護保険料の軽減に役立てるシステムとなる。

問 対象となる介護保険施設は。

答 特養、デイサービス、小規模多機能施設、グループホームなどで、市が対象施設を決定する。

問 登録したボランティアは、どのように派遣されるのか。

答 委託事業者が調整する。

健康

●主な質疑

問 大井清掃センター跡地が多目的グラウンドとなった経緯は。

答 各種団体から専門的な競技場の要望があったが、家族友人とのボール遊びもできるような場所を目指し、幅広い利用が可能な多目的グラウンドとした。

問 夏休みプール教室の概要は。

答 生涯スポーツ事業の拡充内容は。

**豪雨時の浸水被害の軽減、解消を目指して**

雨水浸透・貯留施設維持管理委託料等 予算額…9560万円

局地的大雨などの際に発生する浸水被害対策として、雨水浸透・貯留施設や雨水管を整備します。

●主な質疑

問 雨水浸透・貯留施設の概要は。

答 西鶴ヶ岡一丁目に処理能力300トンの雨水浸透槽を追加設置するほか、大井西中学校周辺に処理能力3000トンの

雨水調整池を設置する。

行われる。

問 雨水管の整備は。

答 上福岡二丁目の雨水管整備は、平成27年度の完了を目指している。また、鶴ヶ岡三丁目において、平成26年度は設計が

元福岡地内の浸水対策は。

答 雨水の新河岸川への放流や遊水地整備など、県と雨水処理方法を検討している。

**企業誘致により市内経済の活性化を**

企業誘致推進事業費 予算額…25万円

平成26年度から、新たに経済関連事業の専門部として環境経済部が設けられました。新体制のもと、一層の市内経済活性化を目指し、企業誘致活動が推し進められます。

●主な質疑

問 企業誘致の取り組みは。

答 都市計画上の用途など地域別の現状把握や、県内外の先進地の取り組みの調査、文献などによる

企業誘致手法の調査、県などの連携による企業誘致マニュアルの検討、工業系土地利用区域(大野原地区)の状況調査を行っていく。

災害